

# 祝卒業



チャレンジ桃花台

Vol.6

2017/3/24

CHALLENGE  
Tokadai

2017/03/03 第2期卒業生20名が、社会へと巣立っていきました。

## 校長室

学校では、様々な機会を利用して、生徒の様子や学校の概況を保護者や地域住民、一般の方々にお知らせしている。その代表的な広報媒体が学校ホームページ（HP）である。本年度一年間の本校HPへのアクセス数は、三月三十一日現在）は、三万七千件である。例年この時期、中学校二年の生徒や保護者の方から学校見学や教育相談の連絡がある。本校を進学先として希望していたり、関心をもっていたりする中学生やその保護者らにとってHPは重要な情報源の一つでもある。

本校はこれまでの特別支援学校とは違って、本校の入学要件に沿い、かつ教育課程に耐えうる生徒を対象にしている。そのため入学選抜検査によって合格が決定され、不合格になる場合がある。こうした情報はHPには掲載されていないため、客観的に見るとわかりにくい。新年度の中学校等の教員を対象にした学校説明会やオープンスクール、その後の教育相談等の場で初めて入試の状況や結果を知ることになる。

本校では学校運営として広報に力を入れており、職員には事あるごとにその旨を伝えている。特に開校一年目は県民に本校のことをよく理解し、知ってもらうために意図的にマスコミも活用した。マスメディアもそれに応えていただき、様々な機会を通じて本校の教育活動を取り上げていただいた。おかげで少しずつではあるが認知されてきたところである。しかし、学校の教育理念として自立を目的とした「一般就労を目指すための学校」が、イメージが一人歩きして「一般就労がで

## 『伝える力』

高等支援学校桃花台学園 校長 宮下 誉夫  
Principal Takao Miyashita



きる学校」になっていることが危惧される。そのためには本校の広報活動や教育相談等の在り方を検証し、実効性のあるものにしていく必要がある。要は伝える力を磨かなければならない。

この「伝える力」を磨くことは、何も学校運営に限ったことではない。多くの本校生徒が抱える特性上のウィークポイントでもある。年度末に各学級担任が作成した通信表の総合所見欄に目を通すと、個々の生徒の長所・短所が記入されている。例えば、「自分が思っていたり、相手に要求したりする気持ちや言葉や態度に表すことが苦手である」といった表記が多い。本校生徒が現場実習先からいただいた実習評価のコメント「コミュニケーションができるように」も同様である。専門教科を中心とした学習活動や体験活動、また、ホームルーム活動や部活動等も含めてコミュニケーション力の育成に努力しているが、一朝一夕には身につかないため、学校のあらゆる教育力を駆使していく必要がある。

「…ネットや本の情報は二次元的である。三次元で見たもの、自分の足で稼いで経験したものになかなない。…」というアパレル業界社長のコメントを掲載した新聞記事を目にし、納得した。来年度は開校三年目を迎える。教育課程の編成や職業教育の在り方を検証した上で学校運営を行うべきだが、個々の生徒が抱える実態を把握した上で、学校づくりと人づくりの視点をシンクロさせていかなければならない。そのためのキーワードが「伝える力」と考える。

## INFORMATION TOKADAI

### 出店決定 川中島合戦戦国絵巻



笛吹市の春の一大イベントの【川中島合戦戦国絵巻】に本校生徒会の出店が決定しました。ラスクなどを販売しますので、応援をよろしくお願いします。

- ◇ 期日 4月16日（日）
- ◇ 時間 午前9時～午後1時
- ◇ 会場 笛吹川河川敷（笛吹市役所前）

### 大好評 桃花ダイスキマーケット2017

2年間のマーケット運営の実績を生かして、来年度はさらにグレードアップします！

3年目の【桃花ダイスキマーケット】に御期待ください。

第1回	5月16日（火）	第7回	12月12日（火）
第2回	6月16日（金）	第8回	1月16日（火）
第3回	7月18日（火）	第9回	2月9日（金）
第4回	9月8日（金）		
第5回	10月3日（火）		
第6回	11月18日（土）		【秋の大収穫祭】

CHALLENGE  
Tokadai  
第6号 平成29年3月24日発行

山梨県立高等支援学校桃花台学園  
〒406-0026 山梨県笛吹市石和町中川1400  
TEL 055-263-7760 FAX 055-263-0741  
URL <http://www.toukadai.kai.ed.jp/>





## 3年生全員の就職が決定

一般企業への就労率は90%超！

3年生全員の進路が決定しました。おめでとうございます。自分の得意な作業や就きたい業種、そして企業等が求めている人材など…。それぞれの要望や要件を合わせながら就職先を探していくことを「マッチング」と言います。このマッチングが早期に整う場合もありますが、何回もの実習が必要な場合もあります。本年度、最も多かった事例では、1年間で5か所の実習先で取り組んだ生徒がいました。就職するという強い意志をもち、ついには就職先を手にすることができました。

さて、新しい社会人として20人が誕生しました。それぞれが自分の力を精いっぱい発揮し、自分の生活を自分自身で切り拓き、立派な社会人になることを心から祈っています。

「桃花台学園」はこれからも皆さんのことを、心から応援しています。

頑張れ2期生！



	職種等	就労先名	人数	合計
企業就労	機械製造	THK株式会社	1	18
		株式会社松下製作所	1	
		甲府積水産業株式会社	1	
		帝国インキ製造株式会社	1	
		コニカミノルタオプトプロダクト株式会社	1	
		テルモ株式会社	1	
	運輸倉庫	富岳通運株式会社	2	
		ピップ物流株式会社	1	
	食品製造	ニューロン製菓株式会社	1	
		ちぼりキネヤ株式会社	2	
株式会社デイリーはやしや		1		
ビル清掃	株式会社甲府キンダイサービス	1		
	テルウェル・ジョブサポート株式会社	1		
リサイクル関係	株式会社田丸	1		
ファストフード	株式会社リバーサイドコーポレーション マクドナルド	1		
	カップ・クリエイト株式会社 かつぱ寿司	1		
福祉就労	就労継続支援A型	アダストパック	1	2
	就労移行支援	ホープステーション	1	

2年生の時に一般企業で実習をしたが、働く自信をなくした。けれど、もう一度がんばろうと3年生になって思い、ちがう企業で実習をしたところ、企業でみとめてもらった。ぼくの進路は決まった。

だからみんな あきらめずに頑張れ!!  
大塚 拓紀



内定通知の授与式【雨宮美砂】

## ぼくの進路が決まるまで

※原文のまま掲載しています  
桃花台新聞 新聞委員会編集 抜粋

1年生の体験実習でいきたい会社が見つかった。ちがう企業で実習もしてみたがずっとあきらめられなかった。先生に自分の気持ちをぶつけた。

夢がかなった！ 自分の気持ちを伝えよう。  
井出 泰博

1年生の体験実習で、行きたい会社はあったが、体の調子を崩しやりたい仕事ができなくなった。体に合った仕事を探す為に実習に取り組んだ。しかし社会は甘くなく何カ所も断られたが、卒業する前に進路を決める事が出来た。

たとえ仕事は厳しくても 人生は素晴らしい！  
N.O

三月三日、春らしい日差しが校舎を包み、第二回卒業証書授与式が行われました。ピンと張り詰めた空気の中、堂々と卒業証書を受け取る姿を見て、三年間の思い出がよみがえり、胸が熱くなりました。

この学年の生徒は、かえり支援学校に入学しましたが、本校開校に伴い全員が二学年に転入しました。日課やきまりが大きく変わり、戸惑うことも多かったです。ですが、皆、転入学を前向きにとらえ積極的に活動しました。ある生徒は、転入学してからの二年間は、あつという間でした。楽しいこともありました。辛かったことも多かったです。と、しみじみ語っていました。

三年生になつてからは、常に誰かが現場実習に行つて、全員が教室に揃うことが少なくなりました。その分、生徒たちは残された学校生活を大切にしよう、自分たちで行事を計画したり、お互いを思いやりたりする気持ちが生まれました。

全員の進路が決まった時の学年集会では、一人ひとりが、これまでの思い出と周囲に対する感謝の気持ちを述べ、喜びと達成感を皆で分かち合うことができました。

卒業した皆さんは、四月からの新生活を控え、最後の春休みを満喫していることでしょう。今後もしらぬ困難が待ち受けていると思いますが、本校で培った力を信じて、前向きに生きてほしい願っています。



## 卒業を祝して……

3学年主任 中村 雅美  
Masami Nakamura



生徒会新役員の顔ぶれ

生徒会役員が改選され、平成29年度の会長に土橋日向子さん、副会長に上條勇樹さんが当選しました。副会長には1年生からも1名が当選し、その他の生徒会役員として、石井湧斗さん、小澤観織さん、加々美秀明さん、松浦晃也さんの4人が生徒総会で承認されました。新たな役員が、来年度の生徒会をリードしていきます。皆で一致団結し、桃花台生徒会をますます盛り上げていきましょう。



## 寄宿舎での生活……

主任寄宿舎指導員 古屋 秋子  
Akiko Furuya



寄宿舎は、遠距離のため毎日の通学が困難な生徒が入舎しています。家庭での自由な生活とは違い、集団生活ですので、決められた時間に舎生全員が一緒に行動します。また、皆で気持ちよく生活するために一人ひとりがマナーを守り、時には自分たちでルールを決めて、より良い集団生活になるよう取り組んでいます。

皆との生活は、「面倒」「しんどい」と思うこともあるかもしれませんが、しかし、寄宿舎の生活においては、寝食を共にした仲間と助け合い励まし合っている仲間を深め、自立するための力を育てていきます。また、毎日の生活の中で、将来充実した生活を送るために大切な、「人との豊かな関係性」「自分で考えて行動する力」の育成も目指しています。卒業後の社会生活に必要な力を、寄宿舎での集団生活・自立生活の中で身に付けていきます。



寄宿舎では、季節ごとに各種のイベントが盛りだくさん！